

日本
初開催



"Perhaps my earliest achievement was to defy limited family expectations. I was meant to stay living in my home town and work in a shoe factory or shop; but I had a stubborn belief that more was possible."

スペシャル タナーレクチャー - 21世紀の女性の生き方 -

英国の階級社会をものともせず
自らの信念と努力で道を切りひらいた
型やぶりの女性リーダーの問いかけ

2016年5月18日(水) 13:00-15:00

会場：お茶の水女子大学 徽音堂

言語：日本語・英語(同時通訳あり)

受賞講演

"Women: Education, Biology, Power and Leadership"

キャロル・ブラック氏

英国ケンブリッジ大学 ニューナム・カレッジ学長

王立医学アカデミー元理事長 大英帝国勲章(DBE)受勲

対象：学生／一般

入場無料

事前登録制
5/9 17時〆切

タナーレクチャーとは？

ハーバード大学やスタンフォード大学などの米国の大学、さらに英国のオックスフォード大学およびケンブリッジ大学といった、世界を代表する大学でのみ開催されてきた「ノーベルレクチャー」に匹敵するともいわれる著名な啓発活動です。

スペシャルゲスト

「未来を担う
若き友人たちへ」

行政に、外交に、政治に、
女性リーダーとしての
道をつき進んだ

遠山 敦子氏

元文部科学大臣

お茶の水女子大学名誉博士

トヨタ財団理事長



申込フォーム
QRコード

● お申し込み

<https://safety-site.jp/tanner/>

【申込締切：5月9日(月)17:00】

※ 託児あり(無料)：ウェブで予約先着15名

主催：タナー財団・お茶の水女子大学

運営：グローバルリーダーシップ研究所

● お問い合わせ

国立大学法人お茶の水女子大学

タナーレクチャー事務局

E-mail: tanner-info@cc.ocha.ac.jp

TEL: 03-5978-5935 (水・金PM対応)

URL: www.ocha.ac.jp/tanner/

受賞講演者：キャロル・ブラック氏

女性：教育、生物学、能力およびリーダーシップ

女性も男性と同等の教育を受けられるよう、2世紀にわたり女性と一部の男性が奮闘してきた。そのおかげで女性たちは高等教育の機会を得、それを身に付けるに留まらず、輝かしい成功を収め、自身が選択した分野で極めて優秀な成果を挙げるようになった。多種多様な専門分野と職業に参入し、家庭と仕事をバランスよくこなしている。こうした情勢を見れば、どのような課題が残されているのか疑問を持つ者があるかもしれない。

ここ数十年にわたり、男女共同参画を掲げた施策が実施され、推進機関や会議、委員会が活動してきたにもかかわらず、往々にして障壁が残っており、公平性に欠ける分野で成功を目指すとする女性は困難な課題に突き当たる。本レクチャーでは、女性が参入している数種の専門分野と職業を調査することにより、こうした障壁や課題を探る。

女性が選択をするとき、それが真に心からの選択であるか否かにかかわらず、自信や回復力の有無、完璧を目指すことの負担、およびリスクや失敗への恐れといった要素が影響を及ぼすが、今日の女性にとってそうした要素がどんな役割を果たすのかという点も合わせて、女性の選択について考える。このような要素は、人生のどれくらいの時期から影響を及ぼし始めるのであろうか。学生時代か、それとももっと後だろうか。本レクチャーでは、個人的経験および同級生や友人の経験を中心に上げていくこととする。

私たちは皆、「いかなる理由で、何（誰）のために行動するのか」ということを自問しなければならない。



■略歴：

大学とは無縁の家庭に育ったが、両親の偏狭な期待を覆し、英国の医学界を率いるリーダーのひとりとなる。大英帝国勲章 (DBE) 受勲。王立内科医協会会長、王立医学アカデミー理事長などを歴任したのち、現在、王立内科医協会および英国医学会フェロー。ケンブリッジ大学ニューナム・カレッジ学長をつとめる傍ら、英国保健省および英国公衆衛生庁の衛生・労働専門委員として活躍する。

スペシャルゲスト：遠山 敦子氏



■略歴：

1962年東京大学法学部卒業後、文部省初の女性キャリアとして入省。高等教育局長、文化庁長官、駐トルコ共和国日本国大使、国立西洋美術館長を経て2001年小泉内閣の文部科学大臣に就任。その後、新国立劇場運営財団理事長を務めた。現在は、トヨタ財団理事長、日本いけばな芸術協会会長など。著書に「トルコ世紀のはざまで」「こう変わる学校 こう変わる大学」「来し方の記」ほか。

未来を担う若き友人たちへ

21世紀は20世紀とは異なる世界規模の新たな困難が出現している。インターネットの加速度的な発達、人類の生命への脅威をもたらすIS、地球規模の気候異常などである。日本国内も少子高齢化、社会保障、格差、地方衰退、大自然災害など課題山積である。しかし、こうした課題の多さと困難さは、若い人たちに今後の活躍の場を開いているのだと私は捉えている。

日本は、これまで世界各国と比べて女性の社会参画が極めて遅れている国である。Economy, Education, Health, Politicsの諸データを総合して毎年作成されるジェンダー・ギャップ指数によれば、何と日本は現在145か国中101位である。日本の女性たちの高い潜在能力を考えると誠に残念である。他方、現安倍政権は、女性の輝く社会の実現を願って種々政策を展開している。今後は女性たちの社会的な活躍のチャンスは広がるであろうし、社会が女性の活躍を求めている。半世紀前、私が就職に苦心した頃に比べれば格段の前進である。

人は仕事を通じて成長する。人は自ら学び、考え、実行することで生きることの手応えを得る。人間として、社会のために役立ち、かつ、自らの人生を豊かにするためには、志の高さ、深い英知、熱い情熱と実行力がある。私自身の経験を交えながら、人としての生き方を皆さんと一緒に考えてみたい。

Access Map



- 東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅より徒歩7分
- 東京メトロ有楽町線「護国寺」駅より徒歩8分
- 都営バス「大塚二丁目」停留所下車徒歩1分

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1

お問い合わせ：

国立大学法人お茶の水女子大学
タナーレクチャー事務局

E-mail: tanner-info@cc.ocha.ac.jp

TEL: 03-5978-5935 (水・金PM対応)

URL: www.ocha.ac.jp/tanner/

お申し込み



QRコード